

進捗報告10/6

1. 現在取り組んでいること 文字列探索についての調査

2. 進捗状況

既存の有名な文字列探索についてまとめつつ、Cとjanusでの実装

3. 前回からの進捗

前回の課題としたところをgithubに挙げたが共有の仕方が分からない状態

- ・githubへプログラムをまとめる
- ・2つの方法を考えて実装し、解析を行う。

疑問点等

- ・local変数を用いた方がいいのか用いない方がいいのか、用いた場合は入力やゴミとして考えるのか
- ・スタックを用いない方法として、文字列とパターンをずらすタイミングを不一致時ではなくパターンの末尾を探索した時で考えたがうまくいかなかった。
 - 一度不一致になった後、その後も不一致や一致を繰り返すため、可逆にしたときどこで不一致の判断を出したのか判別付かない。
 - 一致+不一致のペアで考えてみたが出現確率が減るだけで、上と同様の状態になったがアイデアとしてはどこかで使えるかもしれない

4. 今後の課題

文字列探索の調査

- ・既存の有名なものを詳細にまとめ上げる
 - ↳KMP法とBM法も同じように実装、可逆化までやる
- ・他にも多くのアルゴリズムも軽くでいいから列挙する